

ティームオリオン ボルテックスExperience 2 (エクスペリエンス 2) ブラシレスシステムをお買い上げいただきありがとうございます。本製品は最先端のR/Cカー用ブラシレステクノロジーを使用しております。扱いやすさを重視した設計で、ハンダ付けや面倒な設定は必要ありません。様々な1/10オンロード・オフロードカーにご使用になれます。

このESCが持つパラメーターはオプションのORI65020デジタルセットアップボックスを使用することで調整が可能です。

この取扱説明書を良くお読みになり、本製品の性能と信頼性を最大限に引き出してください。

重要！

必ずESCのコネクターに適合するバッテリーを使用してください。また、バッテリーのコネクターの状態が良いことをご確認ください。必ず品質の良いバッテリーをご使用ください。モーターやESCのオーバーヒートを防ぐため、標準より低速のギヤ比(ピニオンが小さい)を使用しなければならない場合があります。NiMH/NiCdの7セルあるいは8セルのバッテリーおよびLiPo/LiFeの3セルバッテリーを使用する場合はより低速のギヤ比を使用する必要があります。そうしない場合はモーターやESCにダメージを与える場合があります。

上記に従わないと動作不良を引き起こしたりモーターやESCにダメージを与えたりする場合があります。

モーターの取り付け

- ESCとの配線がしやすいようにモーターの取り付け角度を決めます。
- シャシーに付属のビスを使用し、モーターをモーターマウントに取り付けます。
- ピニオンを取り付ける前に、ギヤ比が適切であることを確認してください。現在取り付けられているピニオンあるいはスパーギヤを変更する必要があるかもしれません。

ESCの取り付け

- 走行時の空気の流れが良く、モーターに接続しやすい位置に両面テープでコントローラーを取付けます。モーターやESCのコードを改造しないでください。故障の原因となります。
- 操作しやすい位置に両面テープでスイッチを取付けます。
- コントローラーの受信機用コードを受信機に接続します。通常、受信機のチャンネル2に接続します(必要に応じ、送受信機の取扱説明書を参照してください)。
- 3本のモーター接続用コードをモーターコードに接続します。

使用方法

- 送信機のスイッチをONにします。
- バッテリーをESCに接続します。
- ESCのスイッチをONにします。
- ESCがピープ音を発生し、自動設定が完了したことをお知らせします。
- 走行可能です！

重要！

ピープ音が鳴るまではスロットルを操作しないでください。

ESCの設定(オプションのデジタルセットアップボックスを使用します。)
ESCパラメーターを変更してESCの機能を調整することが可能です。設定の変更にはオプションのORI65020デジタルセットアップボックスが必要です。

工場出荷時の設定

- バッテリータイプ: LiPo AUTODETECT
- 出力特性: LINEAR
- ブレーキ: 30%
- ドラッグブレーキ: 0%
- 進角: 0
- ニュートラルデッドバンド: 2
- 動作モード: FORWARD/REVERSE

変更可能なパラメーター

1. BATTERY TYPE (バッテリータイプ)
動作用バッテリーの種類に合わせて設定してください。低電圧カットオフ機能によりバッテリーが空になる前にモーターへのパワー供給を制限します。バッテリーへのダメージを防ぐため、パワーの低下を感じたらすぐに走行を中止してください。この機能をOFFにすることも可能です。この場合、バッテリーが空になるまでモーターへパワーを供給しますがバッテリーの種類によっては過放電によるダメージを受ける場合がありますのでご注意ください。
※LiFeバッテリーを使用する場合はNiMH/NiCdを選択してください。
設定範囲: LiPo AUTODETECT (LiPo自動検出)、NiMH/NiCd、NO-CUT OFF (カットオフなし)

2. DRIVE PROFILE (出力特性)

このパラメーターは加速時のパワーカーブを変更します。荒れた路面や滑りやすい路面では、SUPER SMOOTHやSMOOTH、滑らかでグリップの良い路面ではX-POWER、POWERが適しています。

設定範囲: SUPER SMOOTH (スーパースムーズ)、SMOOTH (スムーズ)、LINEAR (リニア)、POWER (パワー)、X-POWER (エクストラパワー)

3. BRAKE SETTING (ブレーキ)

このパラメーターはフルブレーキ時のブレーキパワーを設定します。荒い路面や滑りやすい路面では低い値、滑らかでグリップの良い路面では高い値を設定することができます。高い値ではESCに負荷がかかりますので注意深く設定してください。

設定範囲: 0~80%

4. DRAG BRAKE (ドラッグブレーキ)

このパラメーターはスロットルをニュートラルに戻したときに掛かるブレーキパワーを設定します。このパラメーターの設定によりスロットルを戻したときの操作フィーリングを調整することができます。高い値ではESCに負荷がかかりますので注意深く設定してください。

設定範囲: 0~30%

5. TIMING SETTING (進角)

このパラメーターの設定によりモーターの特性を変えることができます。進角を少なくすると効率が高くなり、よりスムーズなスロットルレスポンスを得ることができます。進角を多くするとパワーが上がりますが効率とスムーズさは低下します。高い値ではESCに負荷がかかりますので注意深く設定してください。

設定範囲: 0~30

6. NEUTRAL BDWIDTH (ニュートラルデッドバンド)

このパラメーターはニュートラル付近の送信機のスロットル入力に対するESCのレスポンスを調整します。高い値ではニュートラル付近でのスロットル操作に対する反応が鈍くなり、低い値ではより敏感に反応します。

設定範囲: 1~4

7. OPERATION MODE (動作モード)

このパラメーターはESCを前進のみの動作にするか前進、後進の動作にするかを設定します。

設定範囲: FORWARD/REVERSE (前進/後進)、FORWARD ONLY (前進/ブレーキ)

8. DEFAULT SETTINGS (工場出荷時の設定)

工場出荷時の設定を読み込みます。

設定範囲: YES あるいは NO

トラブルシューティング

車がバックする:

モーターとESCを接続する3本のコードのうち任意の2本の接続を入れ替える。

前進よりバックの方が速い:

ESCの電源を一旦切る。送信機のスロットルリバーススイッチをONにし、ESCの電源を再度入れる。

ESCのスイッチをONにしてもピープ音が鳴らない:

- 送信機のスイッチが切れている。
- 送信機か受信機が故障している。
- モーターのコードが正しく接続されていない。
- バッテリーが空か故障している。
- ESCが故障している。

車がガタガタ走る:

- 送信機か受信機が故障している。
- モーターのコードが正しく接続されていない。
- バッテリーが空か十分なパワーを供給できていない。
- ESCが故障している。

モーターやESCがオーバーヒートする:

- ピニオンが大きすぎる → 歯数を減らす(ギヤ比を低速にする)
- 駆動系が重い → 軽く回ることを確認する。
- 気温が高すぎる。
- ESCの設定が不適切 → ブレーキ、ドラッグブレーキ、進角の設定を見直す。
- クーリング不足 → オプションのクーリングファンを取り付ける。(標準で付いていない場合)
- バッテリーの品質が低いかダメージを受けている。
- ESCが故障している。

保証

ティームオリオンは本製品に製造上の欠陥がないことを保証します。この保証は不適切な取り付け、使用に伴う損耗、あるいは不適切な使用方法や取り扱いによる問題については適用されません。この製品の使用により発生するあらゆる損失に対する責任は負いません。この製品の接続および使用開始により、使用者がすべての責任を負うことを受け入れたものとします。下記の場合は不適切な使用とみなされます。

- 取扱説明書に従わない場合
- 不適切な使用(手荒に扱う、仕様外の使用方法など)
- 適切な動作を妨げる設定(不適切な接続方法、取り付け、設定など)
- 過負荷、過熱(ハンダ、部品の溶融など)
- 不適切な環境での使用(雨、湿気などによるダメージあるいは錆など)
- メンテナンス不良(埃など)
- お客様による分解、改造(コネクター、配線、部品の改造など)
- 外的要因による機械的損傷